

これは、
映画です。



オペラ座には今でも、魔物が棲むという。

オペラ座の怪人

ロバート・イングリッド主演 / ガストン・ルルー原作

シブ・スクリン / アンガス・マクドナルド / ナイフ / テレンス・ハーベイ / ステファニー・ローレンス
製作総指揮 マナム・ゴラン / 製作 バリー・アラン・ワーズ / 監督 トッド・ヒル
オリジナル脚色 ジェリー・オハラ / 脚本 テューク・サントファ / 特殊メイク ケシイ・エカー
音楽作曲・指揮 ミン・シーガル / オペラ監督 アン・ダス・ニ

© MCMXXIX 21 ST CENTURY PRODUCTION N.V. カラーアメリカ映画 (s. 1997)

ヒューマックスキタが 共同配給
HITAGAGA GENTURY

それは、現代のニューヨークから始まった…。

タイムワープの要素を加えた新版ファントム・オブ・オペラ

映画で観せる、新しい魅力！。怪人は、舞台からスクリーンへと忍び込む！

現代のN.Y.——。オペラ歌手を目指す、若く美しい娘クリスチーナは、ある役のオーディションを受けていた。舞台上がり、歌う彼女の透きとおった美しい歌声は審査する演出家を魅了するが、その時突然、重たい舞台装置が天井から落ち、彼女は頭を強く打つ。その瞬間、クリスチーナは100年前の伝説的な地域に踏み込み、生きてそのまま自分の前身が持っていた地位を引き継ぐのだった——。

時は19世紀——。ロンドン・オペラハウスでは幽霊のような人影が出没し、人々は恐怖におののいていた…。不気味な人影は“ファントム=怪人”と呼ばれ、霧の立ちこめるロンドンの古風な建築物とマッチして、一層、怪奇ムードが高まっていた。

そんな時、オペラハウスで行われる公演の主演であるカルロッタが、全身の皮膚をえぐられて殺された作業員を発見し、放心状態となってしまふ。劇場側は、急遽代役として、若手のクリスチーナ・デイに白羽の矢を立てた。公演は盛況の内に幕を閉じるが、次の日、批評家はクリスチーナの演技に酷評を与える。しかし、すぐにその批評家は殺害されて帰らぬ人となり、一連の殺人と怪人の噂で街中は騒然となった。

——不滅の音楽を手に入れるため、悪魔に魂を売った作曲家、エリック・デスラー……。この発狂した芸術家が怪人の正体だった！怪人は、クリスチーナに魅了され、自作の曲を歌うにふさわしい最高の歌手であると思い込んでいた。クリスチーナに怪人は答える。「おまえは私の声なのだよ……」。そして彼女のオペラスターとしての道をふさごうとする者を次々と殺害していたのであった。

だが、スコットランド・ヤードの警官たちが怪人の隠れ家を見つけ出した時、望みのない恋心を抱いて殺戮を繰り返す酷い作曲家の悲恋物語は、凄惨な終曲を迎えるのだった…。

フランスの怪奇推理小説家ガストン・ルルー原作による不滅の名作「オペラ座の怪人」は、天才的作曲家、アンドリュウ・ロイド・ウェバーによりミュージカル化され記録的な大ヒットを確立し、日本に於いても劇団四季によって上演され（'90年8月より再演）とてつもないブームを巻き起こしたことは記憶に新しい——。

映画版もこれまで、1925年、1943年、1962年、1983年（テレビフィーチャー）と幾度となく製作され、1974年にブライアン・デ・パルマ監督が撮ったグリッターロック風のカルトミュージカル「ファントム・オブ・パラダイス」の原典にもなっていることは有名である。今回、その映画版としての最も新しいリメイク作品が上陸した。本作は大ヒットした同名ミュージカルよりも、むしろ謎の通り魔殺人を描いた原作に忠実であり、そこには映像の中に舞い戻った怪人の真実の姿が描かれ、発狂した醜い作曲家にまつわる壮大な悲恋ドラマに仕上がっている。

そして本最新映画版でタイトルロールの“怪人”を演じているのは、先頃来日を果たした「エルム街の悪夢」シリーズのフレディことロバート・イングランド。フレディとは違ったキャラクターで新天地を確立したイングランドを全米のマスコミはこぞって絶賛した。また、ヒロインのクリスチーナには「W (THE STEP FATHER)」のジル・シェレンが扮し、極めつけの美しさで観る者を魅了する。

製作は元キャノン・フィルムのメナハム・ゴーランが新しい製作会社21stセンチュリーフィルムの元で作り上げた。また、音楽を'84年にエミー賞を獲得したクラシック及びジャズ・ミュージシャンであるミーシャ・シーガルが担当し、作品の持つゴシックムードを重厚なスコアで盛りあげることに成功している。そして監督は前作、「ハロウィン4」（未公開）が絶賛され、今回この大作を任されることになった今後も大いに注目される気鋭、ドワイト H. リトルが当たっている。



オペラ座の怪人

Phantom OF THE OPERA

＜キャスト＞

怪人(エリック・デスラー)/ロバート・イングランド
クリスチーナ/ジル・シェレン
リチャード/アレックス・ハイド=ホワイ
バートン/ビル・ナイファイ
カルロッタ/ステファニー・ローレンス
ホーキング/テレンス・ハーベイ
デイビス/ネイザン・ルイス

＜スタッフ＞

製作総指揮/メナハム・ゴーラン
制作/ハリー・アラン・タワーズ
監督/ドワイト H. リトル
オリジナル脚色/ジュリー・オハラ
脚本/デューク・サンドファー
撮影/エレマー・ラガリー
特殊メイク/ケビン・エイガー
音楽作曲・指揮/ミーシャ・シーガル
オペラ監督/アンドラス・ミコ

今秋ロードショー

特別鑑賞券(前¥1300/後¥1100(税込))発売中!

有楽町マリオン 9 F
丸の内線
ピカデリー2
(201)2881

道玄坂109階 サ・プライム6F
丸の内線
渋谷セントラル
(770)1990

コマ劇場前・地球会館4F
丸の内線
新ジョイシネマ2
(209)4338

伊勢佐木町2丁目交差点
丸の内線
横浜セントラル
045(261)2790